

YWCA で ユースと シニア が 一緒に 活動すること



たかたま ひな
高玉 陽菜 (福島 YWCA 会員)

こんにちは。福島 YWCA の高玉陽菜です。

私が YWCA と関わり始めたのは、日本 YWCA のプログラム「ふくしまから考える新しいエネルギー Part2」からです。私は、このプログラムで自分が何か変わることが出来るのではないかと思い参加しました。

このプログラムで、熊本 YWCA の吉村千恵さんにお会いしました。そして、その年の「福島 & 熊本キッズ春のわくわくキャンプ 2017」に参加させていただくことになり熊本に行かせていただきました。そこで熊本 YWCA のユースと一緒に活動をして、「楽しい！」と思いました。さらに参加している子どもたちが初日は緊張して不安な様子でいたのに、最終日には笑顔になっていたり別れに寂しさを感じ泣いている姿を見て「私もこんな活動をしたい！」と思いました。福島に帰りその気持ちに揺らぎがなかったので福島 YWCA に入ろうと考えました。

どうやったら、ユースが増えるのか。この悩みはこの地域 YWCA も抱えていることでしょう。ここで私が考えたのは2つあります。1つ目は地域 YWCA でユース対象のプログラムを行うことです。2つ目は地域 YWCA の皆さんが常時行っている活動にボランティアを募集してみることです。

プログラムを行うのは大変だなと思うかもしれませんが、ときには他地域 YWCA のユースに手伝ってもらおうという考えがあってもいいと思います。そうすると参加者は、自分と同世代の人がいることでプログラムが行いやすいと感じると思います。いわゆるインターンの存在です。シニアの皆さんもユースと活動してみるとユースが入ったときの様子を感じることができ、いいのではないかと思います。そして他地域 YWCA との交流も出来ると思います。

ユースが現在いない YWCA の方はどうやって一緒に活動すればいいのかと思うかもしれません。私が福島 YWCA に入ったときに感じたことは、ユースが出来るこ

初めは、ユースの気持ちを
尊重してあげてください

とは任せる、難しそうと思ったら話し合い、協力することが大切だということです。ユースが来て嬉しくなってもささせたい、これもさせたいとなるかもしれません。初めは、ユースの気持ちを尊重してあげてください。そのあとは、シニアの皆さんの考えとユースの考えを合わせながら YWCA をより良いものにしていけばいいと思います。

それから、私にとっての他地域 YWCA のユースとのつながりについてです。私以外のユースはほとんど私よりも年上の方ばかりです。知識も経験も私よりもあるので、プログラムを行うときにどうしたらいいのか等を相談できる存在です。私は、シニアとしか活動していないのでシニアに私の考えがうまく伝わらないときが時々あります。そのときは、どうしたらうまくシニアに伝わるのかを相談することが多いです。

そして一番、ユースがつながっていて良いと思うのは、他地域 YWCA のユースにプログラムの手伝いに来てもらえるということです。シニアだけでは体力の問題が生まれてきます。そこでユースが1人でも居てくれると、私の「シニアに負担をかけられない」というプレッシャーが軽くなり、シニアもユースが来てくれると元気になってくれます。地域の事をわかってもらえる機会にもなっていると、昨年8月にプログラムを行い感じました。

私は、今年高校3年生になります。大学進学をしたいと考えているので YWCA の活動に参加することが難しくなっています。私が自分自身で出来る限り、今年は活動したいと思っているので、応援をしていただくと嬉しいです。

神戸 YWCA まごの手 20 周年記念講演

「あした死んでも『後悔』しないために、今やっておきたいこと」



関本雅子医師

まごの手設立から 20 年目にあたる 2017 年 11 月 26 日（日）、20 周年記念講演会を開催した。20 年間まごの手を支えてくださった総勢 55 人の参加者（関係団体・講師 8 人、

元ヘルパー・職員を含むヘルパー 25 人、神戸 YWCA 関係者 15 人）が共に 20 周年を祝ってくださった。

総幹事挨拶、理事長の記念の辞、まごの手報告に続いて、記念講演は、関本雅子医師を講師に迎え、「あした死んでも『後悔』しないために今やっておきたいこと」というテーマで、在宅ホスピスの現場からお話しいただいた。

「『その人らしさ』を支える、寄り添うとは？」という問いかけから講演が始まった。自分の余命が短いとわかったとき、どのように生きたいか。ある人は家族に囲まれて過ごしたいと願ひ、ある人は趣味の音楽三

昧の日々を過ごし、ある人はぎりぎりまで仕事を全うすることを選択する。問いの答えは、「その人が最も大切にしていることを最期まで守り抜くこと」。制度の枠にとらわれず、その人らしさを支えるケアを、まごの手は、初心に返って目指したいと思った。（寺内 真子）

まごの手の歩み

1996 年、在宅ホスピスケアを目指し、会員活動としてホームヘルパー養成講座を開講。1997 年 1 月、講座修了生によるホームヘルパー派遣グループ「まごの手」がスタート。2000 年 4 月、居宅介護支援と訪問介護が介護保険事業所として兵庫県の指定を受ける。

第 23 回「越年・越冬活動（神戸・冬の家）」を終えて

年末が近づくと、色々なことが思い浮かびます。

年越し蕎麦、紅と白に分かれての歌合戦、笑ってはいけない〇〇、おせち料理。ただ、夜回りメンバーには、「これが終わらねば年が越せぬ」イベントがあります。それが、「越年・越冬活動（神戸・冬の家）」の炊き出しです。代表が私に変わってから初めての越年。どうなることかとハラハラする私の横で、沢山の方の活躍により、一同無事に年を越せたものと胸をなでおろしています。協力に感謝致します。

当然のように楽しみにしている冬休み。しかし、寒さに耐え、年を越せるかを不安に思う人たちがいます。私たちの作った（ややすパイシーな）カレーが、その方々に少しでも安らぎを提供できたかどうかと、年末年始のバタバタを過ぎた今、考えています。

（夜回り準備会・立川 献）

『くるくる』1 周年

12 月 21 日（木）は「くるくる」1 周年。開店準備中から来客があり、「高値」のコートや上着等が次々に買い上げられた。セーター、シャツなど衣料が 30 着、アクセサリ 9 個が売れ、これまでで 2 番目の売り上げとなった。

お買い物の後、記念サービスとし

て有機栽培の深煎りコーヒーまたは国産有機栽培レモンが添えられた紅茶を無料提供したが、香りがよいと好評だった。友人や親子と来られた人、顔見知りと話し合う人など、常連さんで待合スペースも賑わった。

この 1 年で 11 回開店したが、並べる品物を集めることが課題。係わるボランティアは少しずつ増えているが、まだまだ募集中！

（地域福祉部・井上 みち子）

神戸 YWCA クリスマス

今年のクリスマスは、礼拝と祝会の二部構成で行った。礼拝では、山崎道子牧師（日本基督教団豊中教会）に「クリスマスの心」というメッセージから、よく見なければ見えない人の心を知る大切さを教えていただいた。

祝会では、この「クリスマスの心」を表そうと、二つのことがらを取りあげた。

まず、2 月に大阪で開催される日本 YWCA「日韓ユース・カンファレンス」の実行委員で神戸 YWCA のユース、福田百さん、村野真椰さんの取り組みを紹介し、支援のアピールをした。今年は、生きづらさや貧困について日韓の若者が寝食を共にしながら考える。

次に、福島から届いた絵本「トントンのようちえん」をピアノ演奏付きで朗読した。福島の梨農園のおおうちゆうこさん（作）・

さいとうゆみさん（絵）によるこの絵本は、今も悲しみ、苦しみの中にある被災者の方々の思いがつつられている。この絵本を朗読することによって、少しでも被災地、被災者へ寄り添う心が持てればと願った。当日は福島 YWCA の会員の方と共に、作者の大内さんも駆けつけてくださった。参加者 47 人。

（キリスト教基盤部・野村 春美）

神戸市民クリスマス

12 月 14 日（金）、日本基督教団神戸栄光教会にて、「みんなで祝おうクリスマス」として、第 59 回市民クリスマスが行われた。今年も、キャロリング、子どものプログラム、青年の集い、ホットタイム、祈りと祝福の時などのプログラムが実施された。ホットタイムは神戸 YWCA が担当。温かい飲み物と食べ物で、来場者を迎えた。参加者約 320 人。

（キリスト教基盤部・野村 春美）



神戸 YWCA クリスマス

私たちの活動は、寄付で支えられています

神戸YWCAの公益活動は、「平和・人権」「地域福祉」「国際理解・多文化共生」「生涯学習・人材育成」「キリスト教基盤」の5つの柱に基づいています。すべてが神戸YWCAのビジョンを達成するための大切な活動であり、応援して下さる皆さまのご寄付によって、社会をよりよく変えていく力となっています。また、地域活動の拠点である会館を維持することも差し迫って重要な課題です。

ぜひご寄付でお支えくださいますようお願い申し上げます。



神戸YWCAのビジョン

"一人ひとりが大切にされる社会"

神戸YWCA 保育園

2017年度は、子どもたちの「おもしろそうだな、やってみよう」の気持ちに答えるために、保育園にご寄付いただいた中から太鼓橋、総合ベビージム、木製洋服台を購入しました。子どもたちの「自分で」という気持ちを育てるために、活用しています。

開園から2年が経とうとしています。床面積を広くとるために収納が限られている現状の中で、教材や、絵本、季節限定で使用する玩具や道具類も増えてきました。それらを収納する倉庫を新設するためには、25万円の費用がかかります。子どもたちがのびのびと過ごすことができるよう、倉庫設置を応援してください。(園長・梅川 玲子)



太鼓橋 (上)
総合ベビージム (下)



神戸YWCA 学院

日本語コース

神戸YWCAでは、在住外国人の子どもたちに、プロの日本語教師による集中した日本語教育支援を行っています。親の国際結婚や母国の状況悪化のために、住み慣れた環境を離れ、日本の公立学校で学ばざるを得ない子どもたちがいます。彼らが日本社会の中で生きていくためには、来日当初に、日本語の基礎と、学校での新しい知識習得に必要な「学習言語」をしっかりと身につけることが何より重要です。

夏休みの「勉強に役立つ日本語クラス」や教科学習と居場所づくりの「はっぴー・さぼーと」(詳細はホームページに掲載)は、必要な支援が届くよう授業料無料で実施しているため、毎年70万円の支援が必要です。地域でともに暮らす外国ルーツの子どもたちがチャンスを手にすることができるように、お支えください。

(日本語コース・原田 雅子)

神戸YWCA 会館 (本館)

阪神淡路大震災後、上筒井より二宮町の現会館に移転してから、早や17年経ちました。本館は、今年築20年を迎えます。その間、1階保育園の改築、外壁塗装等のメンテナンスを施工してきました。

今回の電気設備年次点検で「高圧機器が交換時期(15年)を過ぎ、故障・事故の要因リスクが高まっている」と診断され、2018年度に施工することとなりました。電気設備改修施工費は約260万円です。これだけでなく、電気機器の劣化や建物老朽化に伴い、他のメンテナンスや取り替えの必要性も増えてきています。活動の拠点である大切な会館を次世代へ引き継いでいくために、ぜひお力をお貸しください。(総務・塩見 洋子)

郵便振替口座 01100-0-10298 公益財団法人神戸YWCA

*振替用紙の通信欄に用途をご明記ください。「保育園」「子ども日本語」「会館維持」

*神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります(個人)。詳しくは事務局へお問い合わせください。



神戸YWCAとの関わりは、留学生のカフェの調理を手伝ったことが最初である。

その後シルバーエイジ活動委員会の活動に参加。1996年9月よりヘルパー3級講座、続いて2級講座が開講され、会員活動として、講座を手伝いながら受講した。高齢化が進み在宅介護の充実が求められる、「最期まで思い出とぬくもりのあるわが家で」と在宅ホスピスを目指して、1997年「神戸YWCAまごの手」が発足し、ホームヘルパー派遣を開始した。

2000年より介護保険制度がスタートし、神戸YWCAも事業所として活動を始めた。最初はヘルパー、コーディネートとして活動、ケアマネジャー、介護福祉士の資格を取り、今はケアマネジャーとして、利用者さんの「自分らしい自立した生活」を実現するための支援をしている。

昨年、まごの手は20周年を迎えた。この20年間で多くの利用者さん、その家族の方との出会いと別れがあり、たくさんのお話を学んだ。困難なケースもあるが、利用者さんから「ありがとう」と感謝されたり、利用者さんがだんだん元気になられた時、喜びを感じる。「一人ひとりを大切にできる社会」を目指し、地域に根ざした活動を進めていきたいと思う。(松田 恵美子)

神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA 本館：神戸市中央区二宮町 1-12-10 tel. 078-231-6201
神戸YWCA 分室：神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

●わいわい科学クラブ (小学生対象) 分室

2月17日(土) ①10時～12時②13時～15時
「ハンカチ染めにチャレンジ!」*申し込み必要
参加費 300円

●ちゃいやあらんど 分室

ママと子どもたち(0歳～幼稚園前)のグループ。
第1・3水曜日 11時～15時
参加費 100円(1回)

●地域のお店くるくる 分室

2月15日(木)・3月15日(木)
13時～15時30分
ステキなりサイクルファッションのお店「くるくる」は毎月第3木曜日オープン!

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
毎月第1土曜日 10時～15時

参加費 700円

*昼食はカレーを作って食べます(要予約)。

●木曜カフェ 分室

毎週木曜日 14時～15時30分
マルシェとカフェでほっこりしませんか?
今週はどんないいものがあるか、お楽しみに!

●ひなまつりに憲法を語ろう! (平和活動部)

3月3日(土) 16時～18時 本館
講師 鈴木 渉さん
参加費 1,000円(あられ・甘酒付)

●神戸YMCA/YWCA イースター早天礼拝

4月1日(日) 7:00～8:00
場所 東遊園地(雨天の場合は未定)

分室わいわいバザー!

日時 3月24日(土) 12:00～15:00
場所 神戸YWCA分室

■分室だより

12月の分室は、クリスマスバージョンでした。「金曜食事会」のメニューは、ミートローフとケーキ。日頃少食な方もおかわりなさったとか。「わいわい亭」では、お食事の後、クリスマスソングのピアノ演奏があり、みんなで賛美歌を合唱しました。「ちゃいやあらんど」は、子どもたちとお母さんたちでツリーを飾った後、サンタさん登場でみんな大興奮!プレゼントをもらって大喜び。そして、大掃除で年末を締めくくりました。

(塩見 洋子)

■運営委員会報告

(12月)【報告】理事会▶

YWCA フェスタ in 京都▶ Love & Peace バザー▶ 合同祈禱週▶ 神戸YWCA クリスマス【議事】▶ ボランティア説明会役割分担▶ 2018年度3市YWCA ①3つの課題検討②日本YWCA Local Action-1の宿泊先③LA-2助成金申請検討▶ 今年度の振り返りと来年度の計画▶ 定期会員集内容検討▶ 機関紙のオンライン化検討

(1月)【報告】理事会▶ YWCA フェスタ in 京都▶ 神戸市民クリスマス▶ 越冬活動(神戸冬の家)

【議事】IWAグループ解散承認の件▶ 2018年度3市YWCA ①3つの課題決定②LA-1 宿泊

先検討③LA-2助成金申請決定▶ 活動報告・計画の確認▶ ユースの活動の場について▶ 「ユニセフのついで」協賛と参加 (書記・小野木 愛)

■編集後記

人は大自然の災害には為すすべもないが、多くの社会の問題は人の力で解決できるはずだと思う。今の日本はどうなっていくだろうか…。

(T・S)

会費納入のご案内

2017年度(2017年4月～2018年3月)会費・会友費が未納の方はお支払いをお願いいたします。

*特別な事情により会費の支払いが困難な場合は、「会費減額制度」がありますので、事務局にご相談ください。

運営委員会よりお知らせ

2017年10月1日付で運営委員の山本かえ子さんが神戸YWCAまごの手職員になり、運営委員を退任。書記は小野木愛さんが担当。

2017年度 クリスマス献金送付先

神戸YWCA クリスマスの席上献金は、神戸YMCA/YWCA イースター早天礼拝・合同礼拝の席上献金と合わせ、以下の団体にクリスマス献金としてお送りしました。(キリスト教基盤部)

神戸の冬を支える会、W・Sひょうご、神戸いのちの電話、原爆の図丸木美術館、被災地NGO協働センター、釜ヶ崎希望の家(敬称略)日本YWCA 東日本大震災被災者支援募金、日本YWCA 災害時支援募金、日本YWCA 日韓ユース・カンファレンス、神戸YWCA 保育園、神戸YWCA 活動

第98回 神戸YWCA 定期会員集会

3月10日(土) 10時～15時
神戸YWCA 会館5階チャペル

午前中は、活動報告・計画・予算を協議します。午後のプログラムでは、「日韓ユース・カンファレンス2017」の実行委員2人から、今回のテーマである「若者をとりまく生きづらさと貧困」についての報告をします。また、啓明学院YWCA部の皆さんから、活動紹介をしていただきます。

今後の神戸YWCA 活動の活性化と事業の発展に生かしていただける会員集会にしたいと思います。

みなさまのご参加をお待ちしています。

(定期会員集会実行委員会・東根 順子)

世界祈禱日

「世界祈禱日」は毎年3月第1金曜日に、教派を超えて和解と平和を求める祈りの日として世界中で守られています。

日時 3月2日(金) 13:30～15:30

主題 「すべて神の造られたものはとてもよい」
～スリナムからのメッセージ～

会場 日本基督教団 神戸聖愛教会(神戸市中央区生田町1-1-27)





ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます

神戸且月堂

本社 神戸市中央区元町通3丁目3-10 TEL(078)321-5555
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



(有) 佐野葬祭

代表取締役 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)

0120-592-392 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

尼崎市潮江4丁目2-2
URL: <http://sanosousai.com>